

平成30年度第3回八幡地域協議会会議録（HP版）

日 時 平成31年1月15日（火）午後1時30分～午後3時40分

場 所 八幡タウンセンター 第3・第4会議室

（委員側出席者11名）

1号委員 佐藤政義 相蘇照子 池田満好 本多秀之 後藤正一
荒生明美 石川正志 佐藤康晴

2号委員 小松幸雄 高橋知美

3号委員 池田香

欠席委員 小松久美子 丸藤祐一

（市側出席者8名）

酒田市長 丸山至

健康課： 主幹 松田俊一 係長 佐藤賢治

八幡総合支所：支所長（兼）地域振興課長 後藤啓、建設産業課長 伊藤将人

建設産業課長補佐 村上秀俊

地域振興課長補佐 小松原毅、地域振興課長補佐 鳴瀬勉

傍聴者： 3名

記録： 鳴瀬

議事日程

～委員と市長の意見交換について、他～

- 1 開会
- 2 会議録署名委員の指名（佐藤康晴委員）
- 3 会長あいさつ
- 4 報告
- 5 市長あいさつ
- 6 協議
- 7 その他
- 8 閉会

【協議の概略及びその結果】

今年度の第3回目となる地域協議会は、市長が出席して委員1名ずつより意見・質問を聞いてそれに答える場となった。委員からは事前に質問等のとりまとめはしないで、全くのフリートークの形となった。報告の項目では健康課より「日本海八幡クリニックの状況等につ

いて」及び八幡総合支所建設産業課より「ぐるっとバス運行の主な改正点について」以上2件の報告があった。

1 開会

○高橋知美副会長 本日はお忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。

これより、平成30年度の第3回目の地域協議会を開催します。本日、都合により欠席の委員は、小松久美子委員、丸藤祐一委員の2名です。

2 会議録署名委員の指名

○高橋副会長 次に次第の2、会議録署名委員の指名を行います。番号順ということになっていますので、今回は、9番の佐藤康晴委員にお願いしたいと思います。佐藤委員、よろしくをお願いします。

○佐藤康晴委員 はい。

3 会長あいさつ

○高橋副会長 それでは、会議次第に従いまして、池田会長からのあいさつをお願いします。

○池田満好会長 改めまして、皆様あけましておめでとうございます。穏やかな新年のスタートだった今年は、歴史的に大きな節目の年を迎えることとなります。明治・大正・昭和・平成から新天皇の即位により年号が代わり、新しい時代になりますが、我々の昭和の時代も遠くになりけりといった感がします。昨年を振り返りますと、漢字の一文字に、も選ばれた「災」の印象があります。西日本の集中豪雨に始まり、北海道地震そして数多くの台風が上陸して多くの犠牲者と行方不明者を出し、いまだに避難所生活をしている気の毒な人達があります。この八幡におきましても8月5日の集中豪雨で荒瀬川が警戒水位を超え、堤防決壊と山腹土砂崩壊の恐れが出たために、荒瀬川流域を中心とした全域に避難指示が出たことは皆様の記憶に新しいことだと思います。避難指示が出ても「何十年も住んでいて、ここは大丈夫だ」といった過信からいざ避難しようとしても濁流がすぐ近くにせまって犠牲になられたケースが全国で多くありました。「自分の身は自分で守る」、「地域全体の連携」が大切です。最近の地球は壊れ始めている感じもしますが、それでも自然環境に無頓着な世界のリーダーも見受けられます。自助・共助・公助を駆使してこの安全・

安心の地域づくりに貢献して行きたいと考えますので、委員の皆さんからも更なるご協力をお願いします。今年猪年であり皆様の確実なる前進とご健勝・ご多幸を祈りまして挨拶に代えさせていただきます。今年もよろしくお願いいたします。

○高橋副会長 それでは、これより協議に入ります。会長が議長となり進めていただきます。

○池田議長 それでは、協議に入りますが、今日は今までと違い、市長が皆さんとの意見交換のため、午後2時頃、来ることになっております。協議に入りましたら各委員の皆さんから、1人5分くらいの時間を取りながら、意見や質問をお話ししていただきますので、時間のご協力よろしくお願いいたします。

4 報告

それでは、最初に報告（1）日本海八幡クリニックの状況等について、健康課よりお願いします。

○松田俊一健康課主幹 本日は八幡地域協議会の貴重な時間をいただきありがとうございます。報告の内容としては昨年11月30日に開催された八幡クリニック等を考える協議会において報告させていただいた内容と同じものとなっております。資料1について健康係長の佐藤より報告させていただきます。

○佐藤賢治健康係長 ～資料1「日本海八幡クリニックの状況等について」～

1. 日本海八幡クリニックの概要

- ・診療科目、診療日、診察時間、医師数等について説明

2. 月別患者数の推移（平成30年度上半期の実績）、

- ・八幡病院の昨年同期と比較し患者数は620人の減少（△6.7%）

- ・減少の要因として、

- ① 病院機構へ移管時の混乱等を避けるため、3月末に予約を前倒した結果、4月の患者数が少なかったこと
- ② 日本海総合病院との機能分担が進んでいること
- ③ 中期的な要因として人口減少によるもの

- ・患者の構成は、八幡80.1%、遊佐町11.9%、酒田地域7.7%

- ・八幡地区を除く酒田地域が減少、八幡地区の割合が増加
- ・入院目的の遊佐町や酒田地区の来院が減少
- ・訪問看護の患者数は1,344人（146人の減少）
- ・夜間受付患者数は313人（1日平均2.5人、6割が予約あり）
- ・土曜受付患者は640人（1日平均26.7人、7割以上が午前中の受診、7割以上が予約あり）
- ・送迎用シャトルバス乗車数は1便当たり平均0.4人

○松田健康課主幹 ～資料2「旧市立八幡病院医師住宅について」～

（1）旧八幡病院医師住宅の方向性について

- ・該当物件4棟あり
- ・平成7年度に建設、敷地全体面積が約2千㎡、木造2階建に車庫併設
- ・1棟当たりの面積46坪（住宅部分40坪、車庫部分6坪）
- ・病院機構では使用しない意向
- ・今年3月で退去し現在、入居者は無く4棟すべて空き家の状況
- ・市も利用計画は無い状況で、財産としての価値も低下の見込み。
- ・管理費用も発生している状況
- ・市としては民間の方に建物付きで売却し活用できる形を検討
- ・売却の課題として、当該地は1団地認定を受けており、4棟を分割して1棟ずつの売却ができない。
- ・この件については、日本海八幡クリニックを考える協議会、小泉1～2区の自治会長や関係者に説明済、結果については日本海八幡クリニックを考える協議会便りを八幡地域に全戸配布。
- ・関係者の意見を伺ったうえで、来年度に向けて市としての方向性を決定

○池田議長 ただ今の健康課からの報告について、委員の皆様から何かありましたらお願いします。

○池田香委員 日本海八幡クリニックの状況だが、1.患者数が600人も減って維持が大丈夫なのか、2.シャトルバスの乗客が1便1人弱でありもったいない、3.旧医師住宅を空き家対策として貸付けすることも検討できないか、以上、お聞きしたい。

○**松田主幹** 患者数の減少については、その4分の1は、病院機構への移管に伴う混乱等を避けるため3月中に前倒し診療した分の減少と入院に付随する患者の減少と考えている。急性期医療の患者については、日本海総合病院を除いて、ほぼ、どこの病院も減少傾向にある。日本海八幡クリニックとしては、ある程度の比較できる段階まで推移を見て、求められるような医療ニーズ等を考えて行きたい。当面は整形外科及び循環器内科の診療は継続して行きたい。シャトルバスについては利用者が伸び悩んでいる面もあるが引き続きPRに努めたい。旧医師住宅の空き家対策の件は、4棟一括で管理する必要があり、誰かが大家さんみたいな形になってサービスを提供する形になる。市が大家になって管理するのも難しく、まずは民間の方で4棟一括で管理される方がいないか探って行きたい。

○**池田議長** シャトルバスについては、日本海総合病院に直行で30分くらいで着くということで住民から便利だという声もある。もう少しPRの必要があるのかなと思われる。

次に報告(2)「ぐるっとバス運行の主な改正点について」建設産業課よりお願いします。

○**伊藤将人建設産業課長** ～資料3「ぐるっとバス運行の主な改正点について」～

- ・運転手の休憩による安全性を考慮し、発着時刻を調整
- ・学生の通学やシャトルバス乗り継ぎ時間を考慮
- ・新たに法連寺の国道344号を通行
- ・市の交通会議に諮り了解を得れば、平成31年4月1日より運行
- ・詳しい時刻表については、3月の広報と一緒に配布予定
- ・八幡郵便局前にバス停を新設

～この件に関し、質問等は無し～

5 市長あいさつ

○**高橋副会長** それでは、市長から一言ご挨拶をお願いします。

○**丸山至酒田市長**

- ・委員の皆さんと、ざっくばらんに意見交換する場は大切であり、この場を設けていただき感謝したい。八幡地域の課題等について、いろいろ意見をお聞きしたい。課題を一举

に解決するのは難しいが、問題意識を共有しながらより良い地域づくりのために頑張りたい。

- ・現在、来年度の予算編成の最中だが、バスの運転手不足や料金等が課題となっている。
- ・体育施設、文化施設等の使用料の定め方が旧三町バラバラでありルール作りが必要。
- ・「住みたい田舎ベストランキング」で10万人以上の都市の部で酒田市が第10位でベスト10に入り、それなりの評価がある。シニア世代が暮らしやすい都市では第2位、子育て世代と若者世代では第8位、自然景観では第13位であり、八幡地域はこれ以上ないというくらいの自然景観のエリアであり、もう少しアピール・テコ入れが必要である。
- ・子育て世代と若者世代に対しても、「もう少し力を入れないと」と思われる。
- ・保育園の受入れ体制を含めた子育て世代への支援策の検討
- ・力を入れたいジオパーク事業だが、中々財源が簡単に見出せず苦慮
- ・酒田市の財政は厳しく、各団体への補助金・交付金を3%ほど圧縮して予算付けしたが、コミ振、自治会については影響が出ないように減額はせず。

6 協議

○**池田議長** ありがとうございます。それでは、早速ですが、次第6の協議（1）委員の皆さんと市長との意見交換に入りたいと思います。委員の皆さんが普段考えていることについて、発言していただき、それに対しての市長の考え方・説明を聞いて、その都度、皆さんから意見交換をして順番ずつ進んで行く形にしたいと思います。それでは、最初に荒生明美委員からお願いします。

○**荒生明美委員** 八幡だけではないと思うが、学校でいじめ問題があると聞く。話し合いも持たれているようだが、なかなか、先生と保護者の話し合いがスムーズに進まないとのこと。いじめを受けた生徒の保護者が学校に相談しても対策を取ってくれないとのことであり、何か良い方策がないものか。

○**市長** 市長と学校を所管している教育委員会は別の機関になっており、直接、市長が口を出せない仕組みになっている。学校に言っても具体的な動きが見えないとのことを教育委

員会でどのような情報を持っているのかわからず何とも言えないが、市長が総合教育会議というものを教育委員に呼びかけて開いており、自由に懇談する場がある。10回近くやっているが、いじめに関してはあまり問題になっていない。次回の会議で話題として取り上げてみたい。きちんとした話し合いの場を持つ必要があるし、保護者の皆様の理解を得たうえで、いじめを無くする環境を学校の中につくっていかなければならない。何かあってからでは取り返しがつかない。地域や学校とで話し合いの場が断絶することがないようにしていただきたい。

○池田議長 次に佐藤委員をお願いします。

○佐藤政義委員 昨年の集中豪雨の関係で、50年近く市条に住んでいるが初めての避難勧告だった。舞鶴橋の下流が決壊したが、いまだに仮設復旧であり、早めに本工事をしていただくよう県に働きかけ願いたい。もう一つ、安田バイパスの早期完成を要望したい。

○市長 河川の復旧についてはしっかり要望したい。

○池田議長 荒瀬川の復旧については3箇所を1本にまとめて発注済であり、順次進むと思われる。

○伊藤課長 安田バイパスの用地買収については完了している。

○市長 県の予算も厳しい状況だが、安田バイパスについては予算を付けていただく大事な時期であり、市を上げて要望して行きたい。

○池田議長 次に相蘇委員をお願いします。

○相蘇照子委員 近所にゴミ屋敷となっている空き家がある。荒れ放題でガラスも割れている。以前、ボヤ騒ぎがあつて衛生上も問題があり行政で対応できないものか。

○市長 市全体でも、そういう空き家が何箇所もある。

○後藤啓八幡総合支所長 その件については、昨年も相談を受け、地主と連絡を取ろうと現在動いている。

○池田議長 次に本多委員をお願いします。

○本多秀之委員 中長期的な視点から、八幡体育館の建て替えの件で、数十年に一度の建て替えであり、それを有意義なものにするための提言である。現在、体育機能のみの検討し

かされていない話を聞いているが、地域住民からすると災害に対して不安があり、それに対応できるような施設を望みたい。建築基準法や予算の関係上、制約があるのは重々理解できるが、かといって見逃して良いのかとなる。例えば、ミサイルのJアラートの避難場所がこの地域では見当たらない。ぜひ、建て替えにあたっては緊急時の避難に対応しうるような堅固な地下施設や窓の無い倉庫的な建物を望みたい。昨年、自然災害でこの地域で初めて避難指示が出たが、これから先、毎年起こっても不思議でない時代になっており、災害時の避難場所として、バリアフリー化や障がい者用トイレの設置、仮設電源の確保、避難場所としてダンボール製の組み立てベッドや隔壁、簡易トイレの備蓄等、機能の強化策を是非とも検討していただきたい。2つ目は、私が住んでいる荒町地区は3本の用水路があり、以前、冬場は流雪溝の機能も有していたが、現在は3本とも干上がった状態であり、住民は流雪溝が使えず苦慮している。雪が溶ける時期になると、水が流れないことによって悪臭、病害虫の発生等、衛生上も問題が出てくる。荒瀬川の復旧工事が決定したとのことだが、工事が終わるまで水が流れないのは非常に不都合であり、上流域の水を仮設でも良いので取り込んで流せないか。対策を願いたい。

○市長 荒町の水路に水を流すことは技術的にはどうか。

○伊藤課長 荒町地区の排水路に荒瀬川上流から水を引っ張ってこれないか、昨年、地元及び日向川土地改良区とも協議をしたが、冬場に田んぼに水を通すということは、田が柔らかくなり、ぬかるむし、また、水を流すための格落としを付けると雪がたまり維持管理が大変とのことではなかなか理解を得られなかった。現在、別の方法がないか検討中である。大変迷惑をかけるが、よろしく願いたい。

○本多秀之委員 上流域の田の所有者の理解がないのが出来ない原因か。

○伊藤課長 日向川土地改良区では水路を復旧はしないとのこと。

○本多秀之委員 今後、用水路に水が入らないということか。

○伊藤課長 夏場は田んぼに来る水が入りますが、冬期間は無理です。

○本多秀之委員 水が流れなくなる時期の衛生対策はするのか。そこをしっかりとってもらえれば地区の住民も安心できる。他に利用できる水源はないのか。

○伊藤課長 考えられるのはポンプアップと思っている。

○本多秀之委員 地区の住民に対して衛生上問題がないような対策をしっかりと取っていた
きたい。

○市長 流雪溝としてもとなると、田んぼに水が入らないような造作も必要になり、なかなか大変かなと思われる。

○市長 体育施設と公共交通については、抜本的な手が打てなかった。八幡体育館については、場所的な課題もあり具体的な話が出来かねているが、いつまでも放ってはおけない。副市長をトップにする体育施設等の再検討プロジェクトを立ち上げるように指示をしている。四ツ興野の消防署の本署の隣に防災センターを造り、災害が起きた際の救援物資等を集積し普段は体育館として使える建物を予定していたが、予算の関係上ストップしている。避難場所としての機能は、特に八幡の場合、鳥海山が近く噴火ということも考えなければならぬ。粉塵などが降ってくる可能性もある訳で、地下とか窓の無い避難機能を持った建物は確かにおもしろい。良いアイデアをいただいたので少し検討の際の材料にしたい。仮に八幡エリアに作るとすると避難場所としての機能は有りだと思われ、国から有利な補助金を引き出しながら体育施設機能を持ったものがあれば良い。一方で、公共交通網が発達してなかったり、施設の規模が大きくなると、場所的には駐車場が少ないと問題が出てくるので広い駐車場が必要になる。

○池田議長 次に後藤委員をお願いします。

○後藤正一委員 少子高齢化・人口減少で過疎化が進む中で、地域づくりモデル事業に取り組んできた。組織を見直して規約改正をして、「まず、やろぜ、集まるぜ、しゃべろぜ、よしやるぜ」でやってきた。地域の人からは「コミ振・自治会の予算を減らさず増やすよう要望して」と言われてきた。市長が減らさないと先程言われたのでほっとしている。これからも皆さんの協力の元にやって行きたい。もう一つ、災害の関係で大沢地区の荒瀬川の水位が浅くなっていて、豪雨等があると氾濫する場所が多くなる可能性があるのも、県のほうにも働きかけ願いたい。

○市長 コミ振等の交付金の予算については、市全体の総額については減らさなかったが、

個々には減った所と増えた所があり、事業の実施状況などによりルール化した。荒瀬川の件については、今回、避難指示があったことも県では承知しており、しゅんせつ等、力を入れるように県に要望したい。最上川も中州が森のようになっていて国に要望している。

あと、中央の企業で良品計画という会社の幹部を案内した際、八幡に非常に関心を持っていただいた。地域に魅力ある仕掛けづくりが期待される。まだ、自分の頭の中の話だが、良品計画と協定を結んで八幡エリアの開発プランづくりを考えている。行政が果たす役割、民間企業が果たす役割を切り分けしながら、支所長には積極的に協力願いたい。

○池田議長 次に石川委員をお願いします。

○石川正志委員 今後もこのような市長を囲んでの意見交換会を続けていただきたい。市長と話し合える場は貴重であり感謝している。日向地区に住んでいるが、昨日の集会でも日向に居る幸せ、日向に居て出来ることや役割等を話し合い今年もがんばろうとなって盛り上がった。日向地区は活動が活発で盛んであり、人口は6百人くらいだが、コミセンの1年間の利用者は約6千人である。去年も市長に旧日向小学校の利活用ということで要望書を出させていただいた。今後も、ソフトの面は地域住民が頑張るのでハードの面の応援をよろしく願いたい。

○市長 コミュニティ・カフェが軌道に乗って良品計画で作るイスやテーブルの素材が八幡の木材を使って全国に広まると産業振興にもつながる。

○池田議長 次に佐藤康晴委員をお願いします。

○佐藤康晴委員 この地域協議会の存在の意義は広く市民の意見を取り入れることだったが市町合併から13年が経過し、地元の議員や自治会長会という組織もあり、我々の立ち位置は果たしてどうなのかと常々思っている。市としてこの協議会をどのように考えているか。

○市長 八幡エリアの地域の在り方とか開発とか、地域住民みんなの意見を集約して、市役所とつなぐ場として機能し今後とも継続してもらえればありがたい。地域によっては形骸化していて集まって意見を言っても意味が無いのではという所もあるし、一方では別の機能をコミュニティ振興会単位で持っていて、そこで私を呼んだりして意見交換している所もある。委員の皆さんが「やっても意味がない」となればそれまでだが、地域の要望等を

市の中枢部にぶつける最大・最強の機関としてももらえるのであれば意味がある。

○池田議長 昨年、旧三町合同の市長報告会に参加させてもらったが、八幡・松山・平田の持っている課題がまるで違っていた。合併してだいぶなるのに、まだ沢山の課題があるのかと痛切に感じてきた。

○市長 地域協議会は条例で決まっております、なくても良いと判断して自主的にあげてもらえれば市としても対応しやすい。

○池田議長 松山と平田の会長に打診してみたい。

○池田議長 次に小松委員お願いします。

○小松幸雄委員 市長・議員・市職員は市民あつての皆さんであり、市民の立場になって対応したい。そのような中で一番要望したいのは、市職員のプロ、例えば農業にしる観光にしる商業にしる、いろいろな部署があるが、その道のプロの職員を育てていただきたい。ただのサラリーマンの職員を市民は望んでいない。もう一つ、旧八幡病院の三階の使い方だが、その後どうなっているのかお聞きしたい。あと、コミ振の予算は全体的には減らないとのことだったが、日向コミ振は減ってしまったようだ。

○市長 日向について言うと、良品計画の事業は別ルートで予算化しているので、ご理解願いたい。

○小松委員 市に予算がないのであれば、プロ化した職員が県や国に出向いて情報をいっぱいもらって予算を調達するような仕組みにしてもらいたい。あと、先程の旧八幡病院の医師住宅の件だが、移住・定住事業のモデル住宅にしてもらえないのか。

○後藤支所長 医師住宅は空き家だった期間が長く、かなり傷んでいる。

○市長 専門性のある職員の育成は、市役所だけでなく他の職場でも同じ課題である。市では国や県、民間と人事交流を行い、磨きをかけている。中央官庁と違い直接住民に接している市職員は、ある意味住民対応のプロと言えるだろう。適材適所が大事であるが、短期間で異動させてはいけないとは思われる。以前は仕事を覚えるために短期間での異動が多かったが、それではプロが育ちにくかった面はある。

○小松委員 最低、5～6年は置いてもらいたい。

○市長 八幡病院の三階の件は、はっきり言って具体的な使い道がなく止まっている。民間による有効活用も含めて検討したい。

○小松委員 日向コミセンの二階の件も是非お願いしたい。

○池田議長 次に池田委員お願いします。

○池田香委員 酒田で観光キャンペーンがある場合、市街地だけの盛り上がりでなく、まわりの地域を含めたものとして努めてもらいたい。開催も何も知らないで、いつの間にか終わったといったことが以前あった。

○市長 酒田は、民間サイドが盛り上がらない問題もある。鶴岡は庄交コーポレーションが、バス・観光バス・観光物産館を活用し盛り上がる。酒田は飲食関係以外、観光で仕掛けようとするのが中々いない。鳥海やわた観光等がそういった動きをしてくれると良いが、企業体力としてそこまではいっていない。もう少し体力が付けば、乳製品・地元農産物等を含めて売り込みができるかも知れない。地元産の売り込みに関しては、農協を含め積極性が望まれる。

○小松委員 農協に技術者・指導者がいないとその地域が衰退していく。大台野牧場にしても、せっかくあれだけ良いものを持っていてもったいない。

○市長 DCキャンペーンの件については、ふれあい商工会としてDCキャンペーン向けに何か出来ないか、少し話してみたい。

○池田議長 次に高橋副会長お願いします。

○高橋知美委員 これまでの話を聞いて特に印象的だったのは、良品計画の件であり楽しみにしている。皆さんが出した意見をもとに是非、成功してもらいたい。

八森自然公園の管理について、今までは間伐等なかなか手が入らず荒れていて危険だった。縦なり横なりのつながりを使ってもらい、もっと自然公園に目を向けてもらいたい。もう一つが、先に出ていた体育館の話だが、八幡地域の子どもたちが放課後に遊べる場がないので、学童保育所とつながった室内の場を考えてもらいたい。あと、体育館の使用料が子ども達にもかかっており、子ども達にやさしい施策を望む。

○市長 それぞれの地区にフル装備で子ども向けの施設をつくるのは財政的に難しいので、

考えられるのが八幡体育館にそういった機能を持たせてつくることは可能性がある。是非、今後、八幡体育館のあり方を考える際には、そんな視点や防災機能も持った機能を入れるように指示をしたい。体育館の使用料については、学校の授業であれば無料にできるが、それ以外の時にできるかは悩ましい。例えば、スポーツ少年団の場合等、学校の体育館は無料であるのを含めて、教育委員会で議論をしている。ご意見として留めさせていただきたい。八幡はジオパークという旗印がある地域であり、気軽にこの地域に足を運んで、鳥海山の魅力に触れてもらいたいという点では環境を整えて行きたい。その点、市の中でも八幡は力を入れている。森の維持の関係だが、楽天に仕掛けているが良い返事が来ていないが、良品計画は少し前向きにアクションを起こしている。今後協定を結ぶので、八幡地域の自然環境の維持についても打ち出せたらと思われる。

○池田議長 次は私から、おかげで3年越しの道路工事であった荒町山根線が間もなく完成ということ感謝したい。

酒田と鶴岡を比較して、どうしても鶴岡からは負けたくないとなる。酒田には鶴岡にない大型船が来れる港がある。一方で、大型船が来港し、バスが五十数台来ても向かう方向は鶴岡方面が多いということがとても残念である。その点でも、鳥海山というすばらしい山を持っている八幡にジオパークの魅力的な拠点があればと思われる。早めの対応を願いたい。

○市長 了解しました。

7 その他

○池田議長 委員の皆さんから、酒田のかじ取り役である市長にいろいろ課題を提起しましたが、今後もリーダーシップを取っていただき、課題解決に向けて執行していただければと思います。それでは、これを持ちまして協議を終了したいと思います。

委員の皆さん、事務局から何かございますか。

○高橋委員 地域協議会の関係で、この中で一番長いのは私だが、先程、地域協議会がなかなか機能していないのではといった意見があったが、自分も最初の頃はそう思っ出るのもつまらなく出るのも意味がないと思っていたが、長いスパンで見ると、例えば空き

家対策や八幡に学童保育所がなかったが、地域協議会を経てつくることができた。空き家対策も段々実を結びつつある。皆さんの意見はとても重要だと現在感じている。長いスパンで見るとは難しく、意見を出しても意味がないのかなと思うことも何回も言うことで、そこから芽が出て実を結ぶこともある。ぜひ地域の人達の意見をいろんな所から拾い集めて、ここで出していただきたい。

○市長 おっしゃる通りで、支所などでお膳立てした協議会だとさっぱりおもしろくないし、存在の意義を皆さん疑問視されるだろう。皆さん方が主体的に自分達の組織だということを考えてもらえれば、きっとこの協議会は重要な意味を持つだろう。

○小松委員 4つのコミ振単位でこのような協議会をやると、支所の職員とのつながりが薄くなってしまう。この地域協議会の組織は市長が言われた通り、自分達の組織として一つ一つ議論しながらやればもっと有意義な会になると思われる。

○事務局 次回4回目の協議会は3月上旬の予定です。

8 閉会

○高橋副会長 それではこれをもちまして、第3回目の地域協議会を閉会いたします。委員の皆さん、市長さん、事務局の皆さんご苦労様でした。

以上